



2022年度 環境経営レポート

(期間:2022年6月～2023年5月)



株式会社 朝日コンサル

発行日:2024年4月30日

I. 環境経営方針

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社朝日コンサルは、ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題と考えており、本業である測量、建設コンサルタント、補償コンサルタントの事業活動を通じて、地球温暖化への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

活動内容は、環境経営における課題やチャンスを定期的に見直すことで明確にし、効率よく、無駄なく、タイムリーに従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制に努め、リサイクル率の向上に努めます。
4. 水の適正な利用により、使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した調査・測量・設計業務を推進します。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2020年 8月 1日

代表取締役社長 竹内 敏雄

Ⅱ. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 朝日コンサル
代表取締役 竹内敏雄

(2) 所在地

本社	〒675-1372	兵庫県小野市本町52番地の9
駐車場	〒675-1372	兵庫県小野市本町69番地の1
三木支店	〒673-0441	兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘35番地の58
福井支店	〒919-0812	福井県あわら市柿原43番地の48
淡路営業所	〒656-1603	兵庫県淡路市生田大坪338番地
姫路営業所	〒679-2153	兵庫県姫路市香寺町田野543番地
加東営業所	〒673-1473	兵庫県加東市下三草35番地
神戸営業所	〒653-0025	兵庫県神戸市長田区真野町3番地の4
加古川営業所	〒675-1201	兵庫県加古川市八幡町宗佐1304番地

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

環境管理責任者兼環境事務局
足立広人

TEL 0794-63-6491
FAX 0794-63-6498
E-mail: asahicon@maia.eonet.ne.jp

(4) 事業内容

測量業・建設コンサルタント業・補償コンサルタント業

(5) 事業の規模

売上高	2.0億円(2022年度)
従業員数	16人
延床面積	312.85㎡

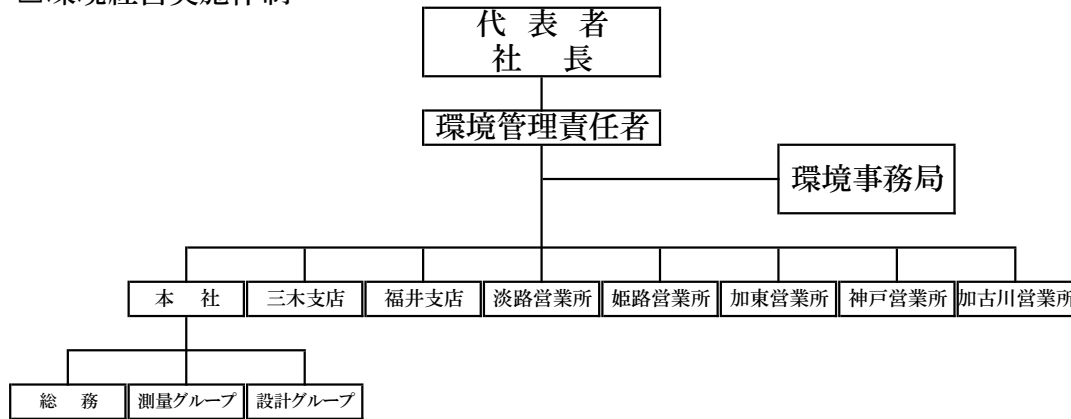
(6) 事業年度

6月～翌年5月

□ 認証・登録の対象範囲

登録組織名	株式会社 朝日コンサル
対象事業所	本社 三木支店 福井支店 淡路営業所 姫路営業所 加東営業所 神戸営業所 加古川営業所
活 動	測量業・建設コンサルタント業 補償コンサルタント業

□環境経営実施体制



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・効果的で必要十分な実施体制の構築 ・環境管理責任者の任命及び各自の役割、責任、権限を定め、全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び統括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	28,681	23,515	24,258	29,139
電力	kWh	16,909	15,580	15,865	16,732
ガソリン	L	9,928	7,893	8,172	10,151
廃棄物排出量	kg	不明	504	497	497
一般廃棄物	kg	不明	504	497	497
産業廃棄物	kg	0	0	0	0
水使用量	m ³	47.0	49.5	54.5	52.0
化学物質	kg	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

Ⅳ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2019年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	28,681.00 —	28,394.50 △1%	28,107.68 △2%	27,820.87 △3%
電力使用量 削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	16,909.00 5,647.61 —	16,739.91 5,591.13 △1%	16,570.82 5,534.65 △2%	16,401.73 5,478.18 △3%
ガソリン 削減	L kg-CO ₂ 対基準	9,928.00 23,032.96 —	9,829.04 22,803.37 △1%	9,729.75 22,573.02 △2%	9,630.47 22,342.69 △3%
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg 対基準 ※2	実績不明 —	504 —	498.96 △1%	493.92 △2%
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	47 —	46.53 △1%	46.06 △2%	45.59 △3%
IV. 環境に配慮した 調査・測量・設計	件 対基準	実績不明	実績調査	取組	取組

※ 二酸化炭素排出量(電力)の排出係数は、関西電力㈱2018年度実績(調整後)0.334kg-CO₂/kWhを使用。

(2)対象期間の実績

		基準値 (2019年6月 ～2020年5月)	運用期間における実績 (2022年6月～2023年5月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	28,681	27,820.87	29,139	95%	△
	対基準		△3%	3.7%		
電力 使用量削減	kWh	16,909	16,401.73	16,732	98%	△
	kg-CO ₂	5,648	5,478	5,588		
	対基準		△3%	△1.0%		
ガソリン 使用量削減	L	9,928	9,630.47	10,151	95%	△
	kg-CO ₂	23,033	22,342	23,550		
	対基準		△3%	2.2%		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	504	493.92	497	99%	△
	対基準		△3%	△1.4%		
III. 水使用量 削減	m ³	47.0	45.59	52.0	88%	×
	対基準		△3%	10.6%		
IV. 環境に配 慮した調査・測 量・設計	件	7		環境配慮 を实践 8	—	○

評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成(95%～100%未満)、×：未達成(95%未満)
達成度＝目標値÷実績値×100 (%)

※調査・測量・設計における環境配慮事項

1.伐採時は最低限度に留める 2.測量現場の美化(ごみの持ち帰り) 3.最適経路での往復(エコドライブの励行) 4.現場測量作業の効率化 5.測量資材を再利用する 6.成果物の電子化を推進

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎:よくできた ○:まずまずできた △:あまりできなかった ×:まったくできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画(取組内容)
二酸化炭素排出量の削減 ・下記の通り	△	(やや未達成) ガソリン消費量が多くなった事もあり、達成できなかった。今後も継続して削減に努める。
電力使用量の削減 ・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	○	(やや未達成) 空調温度の適正化には取り組めた。
・サーキュレーター、扇風機の設置	×	設置が出来なかった。
・不要照明の消灯	◎	昼休み時間の消灯及び不在箇所の消灯を努めることが出来た。
・設備の空運転禁止	◎	不要な空運転の抑制に努めることが出来た。
ガソリン使用量の削減 ・不要なアイドリング	○	(やや未達成) アイドリングストップを励行出来た。
・急加速、急停車の防止	◎	急加速、急停車の防止に取り組めた。
・効率的な移動	◎	ロスの無い運転経路を選択し、現場への往復が出来た。
一般廃棄物の削減 ・実態調査	◎	(やや未達成) 数量の把握をする事が出来た。
・分別の徹底	◎	十分に取り組めた。
水使用量の削減 ・節水の周知徹底	○	(未達成) 節水に対する声かけは出来た。
・清掃時、手洗い時の節水	△	節水には取り組んではいるが、結果に繋がらず、厳しい状況になっている。今後も継続して、節水に心がける。
環境に配慮した調査・測量・設計 ・不要な伐採の禁止及び作業現場の美化	○	(目標達成・環境配慮を实践) 概ね実践出来た。
・最適経路での往復	○	概ね実践出来た。
・現地作業の効率化	○	概ね実践出来た。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物 市の決められた分別排出方法に準ずる。 保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、同保存(廃棄後3年)廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	避難訓練の実施、消火設備の点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んできました。少しずつ定着してきてはおります。2022年度は、遠方での業務が多かった事もあり、目標未達成と芳しくない結果となってしまいました。今後、目標を達成できるよう、より一層努力をすることと、環境負荷低減を図っていきたいと思います。

環境経営方針、環境経営目標・計画、実施体制については、変更しません。

2023年6月2日
代表取締役社長 竹内 敏雄

□兵庫測量設計協会 東播支部 愛護活動(2022年6月：小野市檜山町)

